

シマムセン訪問記(2024.8.4)(HP 掲載)

1. はじめに

IO データ機器のオーディオ用メディアドライブである **fidata HFAD10-UBX** の値下げキャンペーン販売がされており、**fidata HFAS1-S10** を使用している関係から以前より興味がありましたので、実機が展示されているシマムセンを訪問してきました。

2. 試聴機器と設置状況

HFAS1-S10 に関する関連情報は下記のサイトにあります。

<https://www.iodata.jp/fidata/product/odd/hfad10-ubx/index.htm>

<https://www.yoshidaen.jp/shopdetail/000000005352/>

https://www.iodata.jp/lib/manual/pdf2/hfad10-ubx_manu.pdf

https://online.stereosound.co.jp/_ct/17554002

https://online.stereosound.co.jp/_ct/17551585

<https://www.yoshidaen.jp/shopdetail/000000005352/?srsltid=AfmBOorNG2IHtkfGo5Mh4oUb9G8TtaT1Lltn4lcKWtPT6ntd39BJ8wi>

HFAS1-S10 と HFAD10-UBX をどのように接続して使えるか不明の点多々ありましたので、メーカーの相談窓口にお問い合わせしたところ、どうやら使えそうだという事で、シマムセンに音源持参で音質確認をさせてもらうとともに、実際の使用環境を調査させてもらいました。

なお、メーカーとのやりとりは、オーディオ資料室の [HFAD10-UBXQ&A](#) に掲載していますが、メーカーでの動作確認がとれていない機能もあります。

シマムセンの接続環境は次のとおりです。

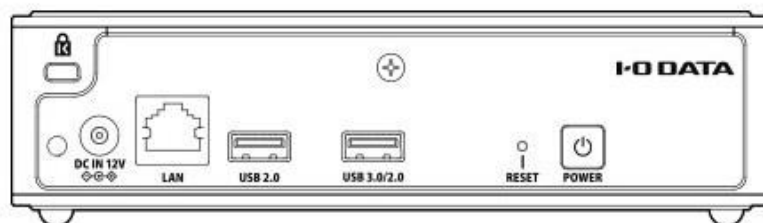
HFAD10-UBX⇒(USB 接続)Soundgenic HDL-RA1S⇒(USB 接続)Soulnote D2

↑(LAN 接続)

Silent Angel N8 (スイッチングハブ)

↑(LAN 接続)

ルーター





接続は、HDL-RA1S の USB ポートと HFAD10-UBX の to Host の USB ポートを接続し、HFAD10-UBX の for Audio の USB ポートと Soulnote D2 の USB ポートを接続しています。

3. 試聴の経過

当日の使用機器は、下記のとおりです。

スピーカー : DALI Epcon 6 MR

アンプ : Lux LX-380

DAC : Soulnote D2

ミュージックサーバー : Soundgenic HDL-RA1S

メディアドライブ : HFAD10-UBX

スイッチングハブ : Silent Angel N8



DALI Epcon 6 MR



D2



LX-380



HFAD10-UBX



HDL-RA1S

N8

試聴に使用する音源は、CD の他、CDR、DVD、MQA-CD、BD、BDR などを持参しましたが、CD と CDR と MQA-CD しかテストできませんでした。MQA-CD は Soulnote D2 にデコード機能がないので CD としての再生です。DVD、BD、BDR はメーカーでも動作確認がとれていないということです。

まずは、シマムセンの現状の接続で CD と CDR と MQA-CD の再生を行い、問題なく再生できました。CD のリッピングも試みましたが、時間がかかるようなので中止しました。

音質的には、演奏会で聴いてきた次の CD はかなり満足度の高いものでした。

ベートーヴェン Sonata for cello and piano No. 1 他

フランソワ=フレデリック・ギィ (ピアノ)、グザヴィエ・フィリップ (チェロ)



MQA-CD は MQA のデコードはできませんでしたが、通常の CD としては、かなりのグレードで聴かせてくれました。

ブルックナー 交響曲第 4 番《ロマンティック》

カール・ベーム指揮ウィーンフィル



さらに、上記 CD の再生において USB 接続をインフラノイズの USB ケーブルと USB アキュライザーの組み合わせにすると、演奏会の印象を再現したようなライブ感が再現できました。

なお、比較としてソウルノートのデジタルプレイヤーの S-3 Ver.2 でも再生してみました。チェロの倍音や胴鳴り、ピアノの共鳴弦の響きが若干後退しました。

以上の過程で、課題として次のようなことがあることが分かりました。

まず、HFAD10-UBX はミュージックサーバーがスイッチングハブに繋がっていないと HFAD10-UBX の電源が入らないことが販売店の経験から分かりました。

なお、マニュアルには、「白点灯：電源入（電源状態は HFAS1 と連動します）」との記載がありますが、意味がとりにくいです。

自宅では HFAS1-S10 はスイッチングハブに接続しています。なお、PC による再生の場合、電源 ON はどのようになるか不明です。

また、実機を確認すると、奥行きが 350mm とかなり長く、設置上の制限をうけることが予想されます。

さらに HFAD10-UBX の to Host の USB ポートは USB3.0 の B タイプですが、BD や DVD を再生しようとした際には、オーディオ用の USB3.0 の USB ケーブルが販売店にもないことが問題で、音質向上の制限があります。

4. まとめ

接続方法は、USB ポートが一つしかない HFAS1-S10 でも接続可能なことが分かりました。

CD 再生は音質的には満足度の高いもので、USB ケーブルをインフラノイズの USB ケーブルと USB アキュライザーの組み合わせにすると、さらにグレードが上がることを確認できました。

BD や DVD の再生は、メーカーからの情報提供がなく、PC による再生方法や USB3.0 のオーディオ用 USB ケーブルが入手できないことなど、ユーザー側でリスク

を負うことになり、さらに電源 ON の条件や設置場所の検討が必要です。

以上